

平成 24 年 3 月 7 日

各 位

会社名 価値開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 阿部 裕二
 (コード番号 3010 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役 本谷 吉生
 (TEL:03-5297-8523)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました、平成 24 年 3 月期通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 5 月 13 日発表)	8,000	450	50	100	1円17銭
今回修正予想 (B)	6,000	△300	△800	△800	△9円38銭
増減額 (B-A)	△2,000	△750	△850	△900	－円－銭
増減率 (%)	△25.0%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	5,156	△165	24	△323	△3円94銭

(金額の単位：百万円)

2. 平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）業績予想修正の理由

当社グループは、平成 23 年 9 月 28 日にお知らせいたしました通り、復興事業従事者向けの中長期滞在型宿泊施設『バリュー・ザ・ホテル』事業の第 1 号プロジェクトの開業を決定いたしました。このプロジェクトは、スパークス・グループ株式会社（証券コード：8739、JASDAQ 上場、代表者名：阿部修平、以下「スパークス」）との協力関係によりいち早く実現し、両社のノウハウを集結した復興貢献度の高い事業として一部の報道にも取り上げられ、発表後は被災地の皆様や復興事業者から大きな反響と開業への期待を頂戴しました。その後も当社グループはスパークスと共同しながら、第 2 号ファンドの組成準備を積極的に推進してまいりました。しかしながら、第 2 号ファンドの組成やその他の仕掛かり案件の成約が 3 月中には困難な状況となり、復興事業の売上計上が遅延となる見通しとなりました。また、これら複数案件の調整への注力により、その他の事業の売上計画が未達となる見通しとなりました。これらの理由により、当期の連結業績予想を修正いたします。

なお、各プロジェクトにつきましては、次期の第 1 四半期中の成約に向けて引き続き取り組んでおり、当期の未達分につきましては次期業績に貢献する見通しでございます。1つのプロジェクトにおいては、候補地やオーナー、金融機関の選定や調整という開発のソフト面のフォローと、建築の技術的な問題に係る自治体との折衝というハード面のフォローとがあり、これらの作業を要する複数のプロジェクトが同時進行で展開しております。このように、平時とは異なる状況下において調整事項の多い事業に取り組んでおり、若干のスケジュール遅れにつきまして、株主の皆様におかれましては、何卒、深甚のご理解の程お願い申し上げます。多くの問題点を克服しつつ事業が着実に前進していく中で、復興事業従事者向けの宿泊施設の要望は益々高まってきております。今後も関係各位のご期待に添えるよう努力してまいりますので、重ねまして引き続き当社事業に対するご支援の程、お願い申し上げます。

なお、主要なプロジェクトにつきまして、お問い合わせの多い内容につき進捗状況を付記いたしますので、ご参照ください。

(注) 本資料に掲載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、さまざまな不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想と異なる場合がございます。

以 上

[ご参考]

当社グループ復興関連事業の進捗状況につきまして

*スパークスとの協力により、ファンドによる資金調達を目指しているプロジェクトは次の3件（SPC数は2）です。

・宮城県名取市PJ（314室）

4月開業とお知らせ致しておりましたが、中国製モジュール輸入に係る日本標準仕様の調整が長引き、夏季開業に向けて準備いたしております。スパークスとの第1号プロジェクトです。

・宮城県三本木市（544室）

・宮城県矢本市（456室）

大手企業2社の出資が決まり、金融機関の協調融資の調整を行っております。三本木は賃貸借契約の締結が完了しております。いずれもスパークスとの第2号プロジェクトです。

*事業主体（ファンドではなく単独法人、もしくは個人）が決定しており、本契約に向けた最終調整に至っているプロジェクトは次の3件です。4月以降の早い時期に着工が期待され、夏季開業を目指します。

・宮城県石巻市（82室）

用地の賃貸借契約、既存建物解体は終了。事業主体を地主様に変更し金融機関との最終調整に入っております。

・宮城県大和町（246室）

地主様を事業主体とし、金融機関との最終調整に入っております。

・福島県広野町（275室）

事業主体、金融機関等、ほぼ全体の調整が終了いたしておりますが、東京電力の国営化観測により、決定を意図的に遅らせております。

*事業主体が未定ながら、当社グループが有望な候補地と判断して、用地確保を図っているプロジェクトは次の5件です。早急にオーナーを選定し（もしくはSPCに組み入れ）て、夏季～秋季開業を目指します。

・宮城県気仙沼市（224室）

土地賃貸借契約が終了致しております。オーナー候補様として大手リース会社が検討中です。

・宮城県石巻市第II（232室）

プラン作成が終了したところです。

・岩手県遠野市（303室）

賃貸契約は可能な状況で、オーナー候補様への第1次提案が終了しております。

・岩手県住田町（未定）

現在、プラン作成中です。

・岩手県釜石市（未定）

釜石市当局より、温浴施設併設の宿泊施設開設の要望が来ております。事業主候補と出店申込書を提出いたしました。

以上